京城新報 第六十號 明治四十一年六月四日（木曜日）

京城新報

今後の韓國統治

統監更迭の機來る

曾禰副統監は去廿七日東洋協會の歡迎會席上において

余が一年有半の韓國に於ける職務に於ては將來韓國に於て爲すべき事業甚だ多し而して余の任期は既に滿ちんとする所なり一旦歸朝せば一歩も後退かぬ事なり余既に此決心を以て韓國に臨む願くは諸君も此意を諒して余が事業を賛助せられんことを云々

の意を演說したりといふ、恰も一大決心を以て其所信を實行せんとするを暗示するに似たり

此副統監の演說を以て、我東電所報の伊藤統監の韓廉近來劇務に當るに堪へず今後韓國の統治を擧げて副統監に一任し時機を見て其印綬を解き曾禰副統監をして代つて統監たらしむるの地ならんとしつゝあり、統監更迭せば從來の懷柔政策は變じて武斷政策となるべしとの說に對照すれば、曾禰副統監が他日志望得て其に自己の責任を以て所謂曾禰式魔勇を揮はんとするの腹算既に今日に成るものあるを知るに足らんか、

板垣伯の岐阜に死せずして自由の早く既に亡びたるは世上の共に惜む所なるが如く、伊藤統監の骨を長白山頭に埋むるに足らずして其地位を辭せんとするの亦共に惜むべきや論なし、然りと雖も老衰の公をして强ひて韓山に死なしめんとするは人情の忍びざるところ、又國家の元老を待遇する道にもあらざるべし、故に公の公言の反故に歸し公の素志の中廢し公の末勢の振はず爲に老病と稱して退かざるを得ざるに至りしならんとの推察の如きは、之を別問題として、公をして心の儘に退隱せしめ、曾禰子をして心の儘に行はしむる亦必ずしも不可なりとせず、否吾輩は當局者にして對韓政策一變の止むべからざるを悟りたる以上、强硬なる手腕を以て其秩序と安寧とを回復し且これを後來に持續し、日韓共同生存の實を擧るに全力を傾注すべきを勸告するの要あるを見る、

伊藤統監の懷柔政策とても必ずしも不可なりといふべからず、主義において最も妙なり、實際亦多少の効果なくんばあらず、然れども統監の文明的仁政を標榜して韓民を懷柔せんとし併せて典章制度を完備して之によりて韓民を誘導せんとするに急なるところ、偶期待粉飾の弊に陷り、韓民は單に面從腹非に止らず、一轉して驕兒の心性を暴露し、再轉して亂民となり、獨立を呼號して憚らざるに至る、即ち表面の薄弱なる金玉的外皮は、其爛熟によりて內部より破裂に抗する能はず、一たび破裂すれば內部の醜態總べて暴露せらるゝに同じきものあるなり、但し創業の難は傍觀者の評するが如く容易ならざるものあるや察せざるべからず、日韓關係は變轉して今日に至りたりと雖も、ポーツマス條約以後列國が日韓關係を正認するまでには、幾多の犧牲を我に要求したり、吾輩の最も批難したる我が外交の韓事以外總べて軟弱なりしも亦之が爲なるべく、伊藤統監の粉飾的懷柔政策も亦た之が爲ならずとせず、故に吾輩後甚だしく過去を攻擊せざるべしと雖も、日韓關係の列國に於ける位置の既に全く確定したる今日、斯る粉飾的政策を捨つるの斷じて惜しむべきにあらざるを主張せんばあらず、我帝國たるもの復何をか憚らん、列國の土國領土たるマセドニヤに對する處置は事古りたれど、獨逸のボーゼン同化の嚴烈手段の如き、佛國の安南に對する政策の如き、米國の對古巴不撤兵の如き、英國の印度に對する猶儼然として兵力を用ひ且將に其言論に制限を加へんとするが如き、和蘭が常に其土族の鎭壓に熱心なるが如き、何れも列國が其自治の能力なき領土もしくは被保護國民の橫暴を懲らし其秩序を保ち其安寧を維ぐに、强力を用ひ沒々として尙及ばざるを惡るゝの風あるを示すにあらずや、韓國の事獨り未曾の仁を以て處し難きや察し易しといふべし、從つて吾輩は曾禰副統監の所謂「一旦蹈み出せば一歩も後に退かぬ」底の武斷的手段に强ひて反對せんとする者にあらず、寧ろ副統監の其面目にして寬厚その宜しきを制し、以て伊藤統監の置きたる基礎を鞏固にし、韓國統治の功績を全うするに至らんを望む、而して其方法に至りては一にして足らざるべし雖も單に教育の力に俟たんよりも却て事業に於て實効教育を施すを以て優れりとすべし、唯威武は潔可らず、伊藤統監の懷柔的政策の精神亦永久に閑却すべからざるのみ、伊藤子果して之に堪ふるや否や、又老病を辭して共志を中發するに至らずんば幸なり、（大每轉載）

浮世ぐさ

●鐵橋の濫觴

明治二年本木昌造工事を督し、長崎港濱の町の木橋を架け替へて鐵橋となせるが之を本邦鐵橋の濫觴とす、又同七年の江戸繁昌記に「芝口に一橋あり、新橋といふ、橋長からずと雖も鐵圍を橋となす、橋に一脚なし鐵柱を欄となす、欄は木を用ゐず、鐵桁を架す、乃ち金國中此の一川あるのみ」と記しあれど最初に起りしは前者の鐵橋なるものゝ如し、

新不如歸（二十七）

小說

篠原嶺葉著

足拇少佐から頼まれて來た岩田六造が歸つて行くと、西脇義祐は、母を始め清子、百合子が衣類など打擲げて、これは箪笥、あれは長持と、婚儀の準備忙しき一室に行けば母の横子は、疊みかけた衣物の手を止め、「足拇からた使者が來たさうだが、又此間の事か何かか可厭な事でも云つて來たのじやないか。」と、問ひかけた。

「いゝゑ此間の事ぢやありませんが、妙な事云つて來ましたよ。百合さんをね嫁に貰いたいッて」

「まあ、自分のね嫁にかね。」

「然うです、自分の嫁にです。」

「隨分年齡も行つてるらしいが、まだ獨身なのかね。」

「今年丁度ださうですが、まだ獨身ださうです。」

「それで何と云つて歸しました、程能く云つて斷つてやりましたらうね。」

「はあ、もう少し早ければ知合の事でもあり、妹も喜んで行くんであつたらが、ツイ此間他へ約束を取結んで、既に明後日婚の音沙汰もなく、百合子は準備全く整ひ十一月三日の夜花々敷、尼花家の人となつたれるぢやありませんか、隨分な人ですね。」

「先方では必然此方の弱點を附込むで、甚麼無理でも可厭と云ふ氣遣ひ無いと思つて云へば、横子は、それで邪魔事云つて來たのだらうよ、だから成たけ怒らさないやうに爲ないとあり云ふ性質の人は甚麼事爲出かすか知れないからね。」

義祐も母の辭を有理と、

「然うです、あの男の卑劣な事は今に始つたんぢやありません、私等と一緒に士官學校に居る頃から、殆んど對手にするものは無い位でした、だから此方に轉任してからも知らん顏してたんです。緣談の事でも斯して約束が濟んだ後だつたから宜いやうなものゝ、外な事で斷はらるものなら、甚麼仇をするか知れたもんぢやありません。」

「然うとも、然うとも、那麼人は成たけ怒らさないやうに爲ないとあり云ふ性質の人は甚麼事爲出かすか知れないから、隨分な人ですね。」

「然うです、百合子は準備全く整ひ十一月三日の夜花々敷、尼花家の人となつたれるぢやありませんか、隨分な人ですね。」

「だつて、私彼の人思ひ出すと、本當に憎らしくて堪らないわ、他の家に來て言ひたい放題な事云つて、嫁に下れいも能く云へるわ、思ひ出しても腹が立つわ。」

清子も百合子に同情して、

「本當ですわね、あんまり他を馬鹿にしてるぢやありませんか、犬だの畜生だのと大きな聲で惡口して、揚句の果は小子まで取つて歸りながら、能く那樣事が云つて來られた

京城新報

五たび伊藤統監に與ふ

統監伊藤公閣下、暑氣漸く加はり老齢の御身を以て繁劇なる政務に秘掌せらるゝは、國家の爲とは言ひ乍ら其健氣なる犯悟に對し余輩は滿幅の感謝を表せずんばあらず、聞く閣下は近來何事に就てか頗に煩悶せらるゝと、蓋は然らむ、閣下現今の立場は將に苦境なり、煩悶せらるゝは至當なるべし閣下の統監政治は既に二年余を經過すれども、成績の見るべきものなく、殊に昨夏の政變以來暴徒蜂起し之が鎮撫に煩殺せられて、百般施設は爲すに由なく殆ど拱手傍觀せると同一の結果なり、組國民も在留民も閣下が帝國一流の政治家として其重望に信賴し、帝國政策の發展を見るべしと期待したりき、何ぞ圖らむ閣下の政策は軍隊を離れて爲すことに於て何等の奏効せるもなし、玆に於て國民は其期待せしことを今夏に後悔せり、閣下自身も亦最初の心算を大に齟齬せることを深慨せらるゝならむ、斯の如き狀態なれば勢い閣下に對する信望は將さに離反せんとす、閣下の明智なる能く之れを知る、煩悶せざむとするも豈失れ得べけんや、然れども余輩は閣下の心事を諒とする者なり、閣下は赤心誠意遵庠すれども其韓國觀を誤れる爲に此苦境に陷入りたるなり、若し夫れ余輩の言に聽て統治の方針を改められしならば、閣下現今の煩悶は無かりしやも知る可らず、過去は追ふ可らず、徐ろに後圖を策して發展するにあるのみ、閣下の政策は常に華を飾らむが爲に誤ること多し、從て蹉躓の場合に想る痕跡の見ゆるは其人格の大ならざるを證するに非ざるや、閣下近來の煩悶も之が爲ならむ、惟ふに閣下は今次歸朝の前に何事をか爲して世の喝采を得むとせらるゝならむ、然れども人事意の如くならざる十に八九、閣下と雖も亦如何ともなす可らず、閣下の胸中には種々なる考案浮び來らむも、閣下の考慮は召命に依りて急遽歸朝し松風謐靡和する所の大破に暫く非難の聲を避け、徐ろに善後の策を講ずるか、或は二三重に日本觀光を勧め參らせ之が御誘導として堂々歸朝するか恐らくは此二策は朝夕閣下の胸中に往來する所ならむ、若し夫れ余輩の想像にして誤なくんば、之を實行することは閣下の爲に非ざるなり、閣下と雖も之を以て上策とは考へざるべし、唯此苦境を脱するの一時的手段のみ、然れども抽策は用ゆ可らず之れ他日の悔なればなり、余輩をして閣下の爲に計らしめば、閣下の對韓方針を一變し深く懷抱せる懷柔政策を捨てゝ、帝國の二千有餘年の宿題を解決するの意氣を以て當らば、總ての難關は無濤に氷塊を投ずるが如く解決するを得べし、玆に於て何の苦煩あらんや、何等の煩悶を要せんや、閣下は比較的鈍點少き政治家なれども常に嘲を缺げるは余輩の痛惜に堪へざる所なり、此際に於ては唯斷行の一あるのみ、而して閣下に異個帝國の對韓經營を完成する志あらば屢々歸朝して任地を空にするは非なり、直接して權威するとは効力に於て大なる差あり、老躯營養のこと忽にすべからざるも、既に決意して大任を負ふ今更私事を論ずべけんや、南山高燥の官邸凉たる松風は閣下を慰するに足らむ、閣下夫れ暫らく任地に落ち付くの意なきか如何、

▲遭難者捜索續行

松島鑑乘組員死没者の中未だ收容せられざるもの下士卒二十三名將校四名なるが今尚ほ死骸捜索中なり(二日發)

東京電報

●觀察使會議終了

内部所管事務に關する會議は一昨二日を以て終了し昨日は午後二時より農商工部に於て開會し宋大臣より訓示演說あり路間事項は道審記官會議に於けるものと大同小異にて各觀察使漢城府尹意見を陳述して散會す午後六時より別項記載の度支部大臣の招待に應じ同日を以て觀察使會議全く終了近々參内謁見の上夫れ〳〵任地に向け出發する筈なり

●新觀察府廳舍

今回忠州より清州に移轉する事となりたる忠清北道觀察府は同地なる元鎮衛隊兵舍にして日本軍隊の駐屯せしを引拂ひ其の廳舍に當つる事となせり又義州に移轉すべき平安北道觀察府は同地なる舊觀察府廳舍を用ふる事となり此れ又日本軍隊の舍營せるを以て目下引揚中なりと云ふ因みに義州は十年前觀察府の在りし地にして一旦定州に移り更に寧邊に移轉せしを今回再び同地に移されたるものなり

●韓國水産業の現在と將來

本日の農商工部に於ける觀察使會議に同部水産局より提出したる韓國水産業の擴張を要する趣旨を記すれば韓國は三面海を環し島嶼極めて多く河川湖沼は内陸に疏通し水産物の豐足なることは古へより顯著なるものなるが現在の漁業が十分旺達せざるは蓋し其の方法の共な僅はらざるに由るなり今日本の最近水産額と比額すれば左の如し

日本海岸線　凡八千海里
水産額約一億萬圓

韓國海岸線　凡三千海里
水産額(内外國人共)約六百萬圓
每一千海里　二百萬圓

日本漁業者捕獲額　三百萬圓
日本水産額と韓國水産額との比較
韓人專漁水産額每一千海里　三百萬圓
日本水産額と韓國水産額との比較
韓人專漁水産額每一千海里　一百萬圓

日本の水産額は韓國の十六倍に餘るの多額なり又此れを一千海里に就て比較せば日本は韓國に六倍するの多額なる但韓人專漁水産額を比較すれば日本は韓國の十二倍に餘るの多額なり

東京電報

▲遭難者捜索續行

松島鑑乘組員死没者の中未だ收容せられざるもの下士卒二十三名將校四名なるが今尚ほ死骸捜索中なり(二日發)

雜報

●觀察使會議終了

内部所管事務に關する會議は一昨二日を以て終了し昨日は午後二時より農商工部に於て開會し宋大臣より訓示演說あり路間事項は道審記官會議に於けるものと大同小異にて各觀察使漢城府尹意見を陳述して散會す午後六時より別項記載の度支部大臣の招待に應じ同日を以て觀察使會議全く終了近々參内謁見の上夫れ〳〵任地に向け出發する筈なり

●新觀察府廳舍

今回忠州より清州に移轉する事となりたる忠清北道觀察府は同地なる元鎮衛隊兵舍にして日本軍隊の駐屯せしを引拂ひ其の廳舍に當つる事となせり又義州に移轉すべき平安北道觀察府は同地なる舊觀察府廳舍を用ふる事となり此れ又日本軍隊の舍營せるを以て目下引揚中なりと云ふ因みに義州は十年前觀察府の在りし地にして一旦定州に移り更に寧邊に移轉せしを今回再び同地に移されたるものなり

●韓國水産業の現在と將來

本日の農商工部に於ける觀察使會議に同部水産局より提出したる韓國水産業の擴張を要する趣旨を記すれば韓國は三面海を環し島嶼極めて多く河川湖沼は内陸に疏通し水産物の豐足なることは古へより顯著なるものなるが現在の漁業が十分旺達せざるは蓋し其の方法の共な僅はらざるに由るなり今日本の最近水産額と比額すれば左の如し

日本海岸線　凡八千海里
水産額約一億萬圓

韓國海岸線　凡三千海里
水産額(内外國人共)約六百萬圓
每一千海里　二百萬圓

韓國漁業者捕獲額　三百萬圓
日本漁業者捕獲額　三百萬圓
日本水産額と韓國水産額との比較
韓人專漁水産額每一千海里　一百萬圓

日本の水産額は韓國の十六倍に餘るの多額なり又此れを一千海里に就て比較せば日本は韓國に六倍するの多額なる但韓人專漁水産額を比較すれば日本は韓國の十二倍に餘るの多額なり

●志賀氏歡迎會

豫定の如く朝川志賀重昂氏の有志歡迎會は一昨午後七時より日本人俱樂部に於て開催せられ當地重鎮なる官民の出席者八十餘名に達し八時頃食堂は開かれ晩餐を共にし續て熊谷民長の歡迎の辭を述べ次に志賀氏の答辞あり次に熊谷民長は立ちて左の意味の歡迎の辭を述べたり

學者としての志賀君の御名聲は夙に我々の承知する處なり、而るに君は只に學者たるのみならず同時に人格の人なり、余は曾て君の人格を欣慕するものなり、今や韓内地は暴徒横行危險千萬なるにも不拘君は親しく危險を冒して視察に遂げられる其結果が必ずや母國の人々を益し同時に我々を利するや疑からざるべしと信ず今回幸に君歡迎に立寄られたるを以て我々は我に今夕の宴を開き御歡迎の意を表するものなり

熊谷民長の歡迎の辭了るや志賀氏は立ちて左の意味の挨拶を爲されたり

御来會の諸君今夕は斯く御丁重なる御歡迎に預りて何と謝の申樣もなき次第なり、私今回の視察旅行は之迄朝鮮の事が内地の人々に餘り實際的に紹介せられて過日南海各地方に巡りたる際種々の好材料を得たれは韓國の上は出來得る丈實際的に韓内地の事情を公衆に知らしめんとして確の得たるは我邦人が韓國に移住して必ず相當の成効を見ることゝ邦人の移住が決して彼人の職業を奪はざることなり(中略)邦人と韓人とは此半島に於て共に相榮へて生存し得ることを發見したりと云々

專漁水産額を比較すれば日本は韓國に十二倍せり

右の如く同一なる一千海里に韓國水産額が日本の十二分の一に及ばざるは日本は漁法の巧拙密と漁具完備せる上に補獲を勤勉して販路を擴張せるに反し韓國は粗拙なる漁法を以て補獲し販賣に稍意なるが故なり然れども仁川釜山清州の間を航行して其の漁業を觀察すれば本國人にして日本漁業者の爲すに於て度支部大臣同次官は主管事務に關し所を改めて作業する者は其の漁獲の高又日本人に多く讓れる事なし此れより推せば進就の有望なるは知るべきなり其の進就の方針は水産試驗場を相當なる地方に設立して器具械機を準備し模範を人民に表示するを以て最も急務とす由來韓國には良好なる漁業場所甚だ多きいみならず魚貝藻類を人工を以て養殖するは即ち天産を增す所以なり本國には此れに適合する場所又少なからず養殖の施行は少しも緩うすべからざる事に關する且つ水産物製造の改良と擴張も次第に實行せざる可らざる事なり以上各節に十分力を用ひて水産業が益々增進せば國富民福豈此の外にあらんや將來韓國の水産業に對して改良奬勵を加へ其の目的を達せば幾許の産額を得るかは容易に明言し難しと雖も日本現在の産額を得るの場合に進歩せば一個年の水産額三千六百萬圓に達すべし即ち韓國現在額に六倍の增進をなすものなり其の前途の有望なる事業なる事は更に疑ふ事なし

●湛灣地質調査終了期

第十回まで調査を續行すべき仁川港灣海底地質調査は去月廿八日を以て小月尾島より納島に向つて約五十間隔離せる地點に於て施行され第五回を終了したるが昨日より又小月尾島より納島に向つて三百間を隔りたる地點に於て第六回調査を開始したりと因に同調査は本年十月頃までには全部完了すべしと云ふ

●鐵道管理局の新計畫

鐵道管理局に於ては暑氣の漸く加はるにつれ種々の新施設をなさん計畫にて其詳細は未だ確定に至らざるも一方に温陽湯泉を利用して避暑客の爲め便利を計り尚馬山浦及鎮海灣底新近の要塞島に海水浴場を設けん計畫にて遠からず實行する筈なりと

●鑑定價格協議

稅關の鑑定價格に就ては度々報導せる如く其後市價引直らざる爲め兎角相互の間に著しき懸隔を生じ商人の迷惑を來すこと多かりしが時に半皮民長の外委員として加來榮太郎、樋口平吾の諸氏昨日午前十一時より民役所樓上に於て會見し妥協の幕を切りたる結果なるが顛末は次號に詳報する筈なり

●仁川地主の主張

兼て仁川地主團体より土地稅賦課に付き民團役所に異議の申立をなしたるは既報の如くなるが彼等が辯護士石黑行平氏を代理人として主張する處を聞くに明治四十年度も土地稅は之を納附するの義務なく且つ明治四十一年度も同稅を引下げられたるとの事にて民團理事者は之に決定を與ふるは易きも其後の衝突を避けんがため地主側よりは委員として二人刀太郎、中野常次郎、岸本保二郎、青木一葉、山末吉、太田吉太郎、高野周三郎、田中良助外に數名の地主又た民團側よりは富田長の外委員として加來榮太郎、樋口平吾の諸氏昨日午前十一時より民役所樓上に於て會見し妥協の幕を切りたる結果なるが顛末は次號に詳報する筈なり

●仁川地主の主張

兼て仁川地主團体より土地稅賦課に付き民團役所に異議の申立をなしたるは既報の如くなるが彼等が辯護士石黑行平氏を代理人として主張する處を聞くに明治四十年度も土地稅は之を納附するの義務なく且つ明治四十一年度も同稅を引下げられたるとの事にて民團理事者は之に決定を與ふるは易きも其後の衝突を避けんがため地主側よりは委員として二人刀太郎、中野常次郎、岸本保二郎、青木一葉、山末吉、太田吉太郎、高野周三郎、田中良助外に數名の地主又た民團側よりは富田長の外委員として加來榮太郎、樋口平吾の諸氏昨日午前十一時より民役所樓上に於て會見し妥協の幕を切りたる結果なるが顛末は次號に詳報する筈なり

▲コツポ博士來朝

獨逸大醫コツポ博士は十二日來朝す西園寺首相牧野文相寺内陸相は招待會を開く筈なり(三日京電)

●郵人判官任命

六月一日付を以て左の如く任命せられたり

評事勅任三等)牧山榮樹、石川正一、鶴田信兆、大橋鐵之助、田中芳、長谷川八二郎、花田銀太郎、鳳野銀太郎、柳澤佐五郎、辻秀春、見矢木欽彌、佐々木源之進、津末有隣、前澤成美(以上判事奏任三等)田中忠見、藤橋一義(以上試判所書記長奏

●郵人判官任命

六月一日付を以て左の如く任命せられたり

評事勅任三等)牧山榮樹、石川正一、鶴田信兆、大橋鐵之助、田中芳、長谷川八二郎、花田銀太郎、鳳野銀太郎、柳澤佐五郎、辻秀春、見矢木欽彌、佐々木源之進、津末有隣、前澤成美(以上判事奏任三等)田中忠見、藤橋一義(以上試判所書記長奏

●榮湖興學會總會

六月一日午後三時三十分中署榮湖興學會事務所内にて開會午後五時三十分閉會出席者は總務水澤副會長池錫永評議員尹雄烈、尹致旿、魚容善、李冕宇、金嘉鎭、趙完九、金光洛、金重煥、朴致祥外三十四人左の議事を通過確定せり

一、教育部長尹致五辭任に付金嘉鎭を選定の事

一、財政部長玄淳辭任に付李舜夏を選定の事

一、會内に學校を設け榮湖學校と稱する事

一、教科を普通中學師範速成三科を置く事

一、先師祠科を設置する事

一、學校の費用は會員捐助金を以て支辨の事

一、館舍を北部管内に有る前軍部衛局内に決定の事

●聯合會と仁川

仁川商業會議所は近日東京に開かる可き全國商業會議所聯合會に對して保證の義務を負ひ來れるが仁川民團は直接韓國に關係する重要の案件なるを以て出席せざることに決定したり

●仁川倶樂部登記申請

仁川倶樂部は曩きに秋田其他の十一名の有志が營業者田中松太郎の負債壹萬五千圓を引受け其の義務を負ひ來れるが仁川民團に於て此程同建物を金一萬圓にて買收し昨日愈登記の手續を了したり尚今後の營業方針については目下協議中なりと

●海潮新開輸入取締

海潮新開第六十八號第六十九號第七十號は發賣禁止を命ぜられたるが仁川稅關にては萬一の輸入を慮り嚴重なる取締をなし居れり

●宇佐川中將下仁

宇佐川中將は昨日午前八時五十五分仁川着列車にて下仁し理事廳を訪問され信夫理事官と共に觀測所を觀覽し正午理事廳に於て午餐の後市街を巡視し午後歸京せり

●岩崎海軍少將下仁

岩崎海軍少將は一昨日下仁仁川旅館に一泊昨日宇佐川中將と共に各所を巡視せられ宇佐川中將同伴歸京

●宮木稅關長歸任

群山稅關開廳式出席を兼ね苗浦方面視察に向へる仁川稅關長宮木又七氏は昨日宮井丸にて歸任したり

●向井聯隊長の謝恩

過日仁川上陸北韓に向ひたる第七師團第二七聯隊長向井高輔氏より昨日富田民長宛にて滯仁中の居留民の厚意を謝す旨電報を寄せ來れり

●聯合會と仁川

仁川商業會議所は近日東京に開かる可き全國商業會議所聯合會に對して保證の義務を負ひ來れるが仁川民團は直接韓國に關係する重要の案件なるを以て出席せざることに決定したり

●仁川倶樂部登記申請

仁川倶樂部は曩きに秋田其他の十一名の有志が營業者田中松太郎の負債壹萬五千圓を引受け其の義務を負ひ來れるが仁川民團に於て此程同建物を金一萬圓にて買收し昨日愈登記の手續を了したり尚今後の營業方針については目下協議中なりと

●海潮新開輸入取締

海潮新開第六十八號第六十九號第七十號は發賣禁止を命ぜられたるが仁川稅關にては萬一の輸入を慮り嚴重なる取締をなし居れり

●宇佐川中將下仁

宇佐川中將は昨日午前八時五十五分仁川着列車にて下仁し理事廳を訪問され信夫理事官と共に觀測所を觀覽し正午理事廳に於て午餐の後市街を巡視し午後歸京せり

●岩崎海軍少將下仁

岩崎海軍少將は一昨日下仁仁川旅館に一泊昨日宇佐川中將と共に各所を巡視せられ宇佐川中將同伴歸京

●宮木稅關長歸任

群山稅關開廳式出席を兼ね苗浦方面視察に向へる仁川稅關長宮木又七氏は昨日宮井丸にて歸任したり

●向井聯隊長の謝恩

過日仁川上陸北韓に向ひたる第七師團第二七聯隊長向井高輔氏より昨日富田民長宛にて滯仁中の居留民の厚意を謝す旨電報を寄せ來れり

●聯合會と仁川

仁川商業會議所は近日東京に開かる可き全國商業會議所聯合會に對して保證の義務を負ひ來れるが仁川民團は直接韓國に關係する重要の案件なるを以て出席せざることに決定したり

●仁川倶樂部登記申請

仁川倶樂部は曩きに秋田其他の十一名の有志が營業者田中松太郎の負債壹萬五千圓を引受け其の義務を負ひ來れるが仁川民團に於て此程同建物を金一萬圓にて買收し昨日愈登記の手續を了したり尚今後の營業方針については目下協議中なりと

●海潮新開輸入取締

海潮新開第六十八號第六十九號第七十號は發賣禁止を命ぜられたるが仁川稅關にては萬一の輸入を慮り嚴重なる取締をなし居れり

●宇佐川中將下仁

宇佐川中將は昨日午前八時五十五分仁川着列車にて下仁し理事廳を訪問され信夫理事官と共に觀測所を觀覽し正午理事廳に於て午餐の後市街を巡視し午後歸京せり

●岩崎海軍少將下仁

岩崎海軍少將は一昨日下

▲コツポ博士來朝

獨逸大機コツポ博士は十二日來朝す西園寺首相牧野文相寺內陸相は招待を開く

邦人判官任命

六月一日付を以て左の如く任命せられたり

平山鈴太郎（判事勅任三等）牧山榮樹、石川正二郎、田邊信光、[illegible]、[illegible]、[illegible]

華族様に口說かる（五）

西の宮た樂の述懷

◎借金で夜逃げ

「何もすき好んで私が其の百圓といふた金に手を附けた譯ぢやありませんが、ソレが氣に障つて出て行けとれつしやるならソリャ出でも行きませうが、差し當つて行先がありません、行先きさへ拵へて下さりやアたつしやる通り出て行きますから如何か行先を拵へて下さい」といふたこしまんは「アレだ叱られてる口の下から那んな事をいつてホントに呆れた人だね」と言ひまじたが「仕方がない家を探がして上げ様から其家に落ち付いたら此れから一人でやつて見るが可いナツウしたら少しは世間の風が身に染みて又氣の持ち方が變つて來るかも知れない」と叱りながらも親切に心配して呉れまして其の揚句江戸町一丁目に格好な空家を見付けて呉れました、

廣世間も此れ位酷いのはマヅ世間澤山はありますまい、障子も無ければ唐紙もない、家の中がガラン堂で只隅の方に膳と飯櫃が淋しそうに並んで居るばかり一寸見た所では人が棲んで居るか什麼か判らず前の空家と差して變りはありません、ソレに御本身の私が始終外にばかり出て居ますから留守居といつちやア殼になつた酒屋の德利が横になつて居るばかりでソリやもうれ哺しの外でした貴ひ殘しの五十圓のた金なんか疾うの昔に消へて了ひ又た座敷で稼いで來たれ金は生意氣にも役者買ひにつぎ込みましたから何時もビーく風車で只殖るものは借金許りといふ情ない境遇なんです其の頃妾しが逆上せて居た役者は御承知でもありませうが那のソラ我當でしてね妾の朋輩が今の八百藏さんを大層贔負にいたして居りました所から毎時も大概一緒で我當と八百藏さんを呼んでは能く二人して遊びく居たのでムいます、ソンナ工合でしたから借金取りは毎日のやうに妾しの家へやつて參りますが妾しは毎日留守ですから什麼しても逢はれません併し借金取りもなかく呑氣なもので御飯にさへ有り付いて居りやア生命に別條は無いと思つてかた米丈は妾はドンナ工面をしても買つて置きましたから借金取りは待ち疲れて腹が減りますと其の米櫃から自分勝手に米を出しまして御飯を自分で焚き上げ御馳走樣でも何ともいはずにかつ込んで、トウく仕舞ひには一粒なしにされましたことも屢々あります、此れには流石の私もホトノくしましたが什麼も仕方がありません、所が終には借金取りも承知しません隨分嚴重に攻ぬて來ましたから流石にヅボラの妾も困つてしまひ什麼しても此の吉原で稼業をして居ることが出來なくなつて了ひましたから何んとか法を附けねばなりません、

開業
石材大販賣
京城永樂町二丁目（赤門前）
堺事務所
電話　番
土木建築測量設計

温飩素麺製造所
▲特別勉強▼
京城明治町一丁目
橋口商店
▲特別勉強▼

謹告
日本燒支那燒煉瓦製造販賣
日本燒は有名なる平壤製にして日々の產出高二萬五千以上今回鐵道管理局と運賃低減の契約を致し如何程大口の御注文にても調達致べく値段も成行相場より安價に御契約可致候間多少に不拘御下命被下度願上候
京城旭町一丁目
平壤京谷煉瓦製造所代理店　益田商店

高等御下宿　三河屋
京城旭町一丁目
諸官衙通勤に最も便利の位置
電話二八番
主　山縣儀作

東京生捲ば
京城壽町三丁目坂井病院隣
東京庵
（電話架設中）

壹ヶ年ニシテ利益十倍ト成ル
廢物化シテ金黃ト成ル
西洋種
日本種
支那種
種用豚兒販賣
京城本町七丁目
食料雜貨商
久一商店
養豚場

●大阪豆腐●
大阪滋養豆ソップ
右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候
●豆腐本のめでんがく
右は一人前十三錢にて仕出し可仕候
京城旭町壹丁目
中瀨商店
●木のめ田樂●

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
簿帳簿
製本裝釘
今日種類豊富印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ如キ諸般ノ進歩業務開始仕候間ノ通報致候上候也
日韓印刷株式會社
社　京城明治町三丁目
電話（三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一丁目
電話新橋三九六三番

松丸太
松材　松薪
木一切並ニ柳材類
弊店所有の松山より伐り出しに付き勉强可仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候
麻浦孔德里大院君墓地
伐材出張事務所

和洋文房具卸小賣
京城本町郵便局前
ノサキ商店
電話六四八番
和洋雜貨類
御單製圖畫機械類
諸官衙御用達
最新式洋傘帽子類

弊店多年內地各地に於て營業罷在候處幸に各位の御眷顧を蒙り千萬忝く奉鳴謝候就ては今回時世の進潮に連れ當地に出張所を設け從來の主義方針により汎く高需に應じ可申此段謹告仕候也
合名會社
明治屋
本店　横濱本町一丁目
出張所　京城本町三丁目
電話二二二番
和洋酒食料品洋食器
煙草化粧品　キリンビール　布引タンサン
ポクイツ葡萄酒　ブカナンウ井スキー　其他

登錄商標
つけて二分間程たてば赤味を帶び白くなる水たしろい
製造本舗
兵庫小物屋町
喜多商店
（電話四百十番）
韓國一手發賣元
城本町一丁目郵便局前
アイエス商會
取次販賣御申込に應じて其他の化粧品一切販賣仕候
定價
金十五錢
金十二錢

御贔負
御願申上
美芳廼內
喜代吉
十郎
初駒
松榮
愛子
町家の御求に可應旭町一丁目電話六百五十九番に

●精白米卸小賣●
石拔白米
十七錢
一升二付十六錢五厘
十六錢
一斗以上市內には出米速達
俵賣は特別値相談仕り候
京城旭町一丁目
前田精米所
月日
各位樣

日本郵船株式會社
仁川海岸通
滊船出帆廣告
貨物及船客取扱店
郡回漕會
電話三九番
京城南大門通
巴商店
電話三〇六番
●釜山長崎門司神戸行
山東丸　六月七日　後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
第一オハヨ號　六月十八日
釗路丸　月日　後三時出
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸　六月廿三日
山東丸　後一時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　七月二日　後一時出
●鎮南浦行
第一オハヨー號　後三時出
●釜山出帆、元山清津、浦鹽行
弘前丸　六月十日
御乘船ノ際ハ發船前波止場ヨリ本船迄送迎可申候
注意　船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ス

穴あきの小ぶり
穴後の三日間
穴あきの小ぶり

襖張替
表裝一切
京城本町五丁目
竹堂

注意
近頃弊社の名義を用ひ各所に向りて染の洗張の注文を受け取り甚しきは品物を返却せざるものあり今後これあり不都合の事に弊社は注文品に責任を負はず引換の節は必ず本人の證書を徵し居り候間違なき樣致し申候
物品御渡無之樣注意申上候
物品御渡の日限を御銘の通り御渡し仕候
弊社は定評ある通り物品仕拵げの精巧なると御賞
守り物品仕拵げの精巧なると御賞
賛あり て續々御注文願上候拜具
京城南山町二丁目伊藤組横通
韓染物合資會社
電話（百五十四番）